

酒引受ケルニ、空中ヨリ大ナル蜘蛛一ツ下ツテ盃中ニ入ニケリ、經基少モ不嫌、其マ、ニ吞レケレバ、天盃ナルガ故、毒蟲ナガラモノマレケルコソ、武士ノ行迹ニハカヒトシケレト叡感不斜シテ、三引領ノ御紋ヲ下シ賜ハリケル、

〔陰德太平記 三十三〕 畠山安見不和事

翌年○永祿三年二月四日、公方御參内ノ時、長慶○三好修理大夫ニ任ジ、子息孫次郎義長ヲ筑前守ニ任

ジ、松永彈正ハ少弼ニゾ轉ジケル、同四年正月、義長ヲ御相伴衆ニ被加、其後桐ノ御紋ヲ被下、松永ニモ同ク御紋ヲ下賜ハリケリ、

〔京都將軍家譜下義輝〕 永祿四年二月朔日、義長出仕、將軍家○足利義輝賜御紋、此時松永彈正少弼同賜御

紋、

〔理齋隨筆六〕 永祿四年、將軍家三好筑前守義長、松永彈正少弼に御紋を賜りし事あり、これ御紋賜はるはじめか、

〔細川兩家記〕 一永祿四年辛酉三月廿九日、御所様○足利義輝三好方へ御成を被申候、是は今度長慶修

理大夫、同息筑前守義興、御字并御紋の桐被下、御相伴衆に成被申候御禮と風聞也、家の面目、天下の聞、不可過之と申候也、

〔重編應仁後記九〕 藥師寺騷動事

同○藥師寺與次ハ、今度兄與一ヲ討タル忠賞トテ、公方家ヨリ御感狀ニ桐ノ御紋ヲ下サレ、○下略

〔總見記七〕 信長依大忠賜御感書歸國事

今度勳功ノシルシナキコトヲ、將軍家○足利義昭思召シ煩ル、ニ依テ、古今無雙ノ御感狀トシテ、三

通ノ御内書ヲ書キ下シ玉ハリ、今日ニモ早々罷歸リ、在國休息可仕由被仰下、○中略

今度依大忠、紋桐引兩筋遣之候、可受武功之力祝儀也、